

# 1. 建設 CAD

## 1-1. 3次元設計データ形式（対応データ形式）

EX-TREND 武蔵では、平成 29 年 3 月に策定された農林水産省：農村振興局の「情報化施工技術の活用ガイドライン」に準拠した基本設計 XML データの読み書きに対応しました。

確認してみましょう。

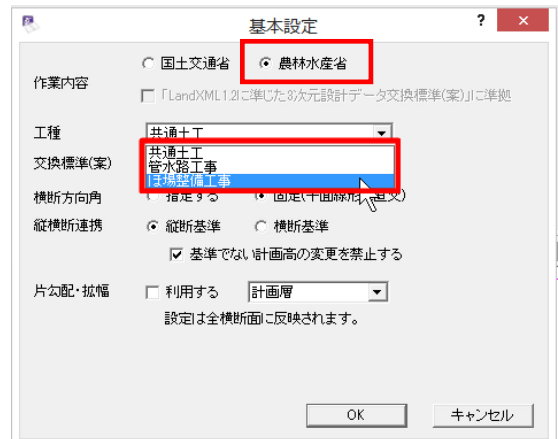
建設 CAD メニューバーより [測量計算] - [3次元設計データ作成] を起動します。

[基本設定] で「農林水産省」を選択します。

工種は「共通土工」「管水路工事」「ほ場整備工事」の 3 つから選択します。

国営土地改良工事などにおける TS 出来形や MC/MG を実施するために必要な設計データ作成、TS 出来形帳票作成が行えます。

データの読み込みは [読み込み] - [線形 XML]、出力は [書き込み] - [基本設計] で行います。

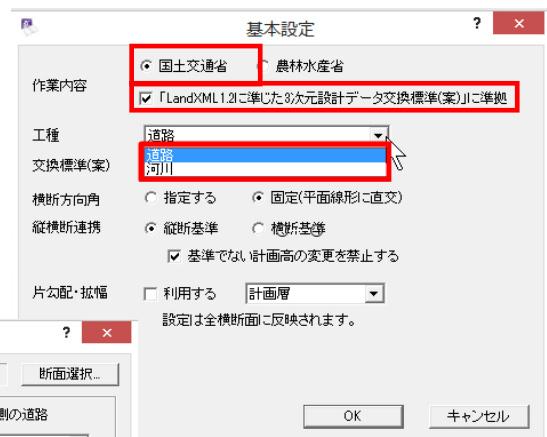


また、同 3 月に公開された国土交通省：国土技術政策総合研究所の「LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準（案） Ver.1.1」に準拠した LandXML データの読み書きに対応しました。

[設定] - [基本設定] で「国土交通省」を選択し、[LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準（案）]に準拠] を ON にします。

「作業内容」のメッセージは [はい] をクリックします。

道路、河川とも、舗装の入力が可能になり、入力された舗装データの厚さを出力します。



また、交換標準案準拠の LandXML は CIM の電子納品では必要な設計データの形式になるため、[横断] - [計画] で [構成要素] をダブルクリックすると、要素を細かく設定することができます。

データの出力は、[書き込み] - [LandXML] で [LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準（案）]に準拠] を ON にして行います。

